

## 部 会 報 告

### 平成 22 年度標準部会傘下の各委員会活動紹介（その 2）

#### 標準部会

#### (2) ISO/TC 195（建設用機械及び装置）活動状況 報告

##### <概要>

##### －国際会議

- ・2010/5/11～14にポーランド・ワルシャワで開催されたTC 195及びSC 1, WG 5, WG 7, WG 8国際会議に日本から4名(SC 1大村議長・WG 8田丸コンビナー・SC 1小野寺エキスパート・SC 1小倉幹事)が参加した。

##### －4/26 現在までの規格推進状況：

- ・推進中の規格：2件（ISO/CD 13027 コンクリートバッチングプラントの安全要求事項, ISO/WD 21873-3 自走式破砕機－性能試験方法）
- ・NWIP 投票中：1件（ISO/NP コンクリートポンプ等の安全要求事項）

##### －議長国／幹事国の動向

- ・SC 1 大村議長の任期更新：初回任期（2005～2010）満了に伴い、TC 195 メンバー国による投票で継続が承認された。（任期 2011～2013, 再々任の制限なし）
- ・TC 195 議長の交代：ポーランド Budny 氏の任期（2007～2010）満了・退職に伴い、米国 Moss 氏が後継者に推薦され TMB 投票が行われた。（任期 2011～2016）フランスの異議申立てで正式承認は保留されているが、既に Moss 氏が暫定議長として承認され活動中。
- ・TC 195 幹事国の交代予定：ポーランド Rozbiewski 氏が 2011 年末に退職予定の為、幹事国退任の意向が表明された。現時点で後継国は未定。（中国およびドイツが立候補したとの情報あり）

#### ① SC 1 コンクリート施工用機械（幹事国：日本）

##### －ISO/NP コンクリートポンプ等の安全要求事項

2008年のシカゴ国際会議で推進計画を示した後、中国、米国、EN 及びカナダ規格と ISO ドラフト（JIS ベース）の比較表を作成、2010年のワルシャワ国際会議での決議に従い各国に意見を求めたところ、ドイツ、フランスから「ドラフトのベースとなった EN 規格が今後更に見直し予定であり、2011 年後半

まで ISO 規格の NWIP を待つべき」との反対があり、滞っている。

オーストラリア規格及び 2009 年に改訂された EN 規格を追加入手し、比較表をアップデートした上、「長期にわたる調査の結果、ISO 規格は作成可能。世界的な製品安全のニーズに応えるため、EN 見直し完了を待たず早期に着手すべき」との意見を付して再度各国へ送付し、賛同を求め、2011 年 3 月に NWIP 投票を開始しており、2011 年 5 月に開催される北京国際会議で協議する予定。

##### －ISO/CD 13027 コンクリートバッチングプラントの安全要求事項

JIS をベースにドラフトを作成、主に英国からのコメントを織り込み、2009 年末に第 1 次 CD 投票を行ったが、米国から「ISO 規格には使用者の運転・保守・検査に関する条項を含めるべきでない」という意見や、ドイツ、フランスから「ドラフトのベースとなった EN 規格が改訂作業中であり、欧州勢はその作業に注力するので、ISO クロックを止めて（現実には不可能）EN 改訂完了まで ISO 規格の作業を遅らせるか、NWIP 予備段階まで差し戻すべき」との反対があり、滞っている。

当初、2010 年 7 月が DIS 登録期限であった為、ワルシャワ国際会議で ISO 中央事務局へ申し入れ、1 年間の期限延長（～2011 年 7 月）が認められたが、プロジェクトの進行（クロック）を途中で止めることはできず、使用者の運転・保守・検査に関する条項を削除し、ポーランドからのコメントも織り込んだ第 2 次 CD を作成、昨年末に再投票を実施した（～2011 年 3 月末締切）。その結果を踏まえ、2011 年 5 月に開催される北京国際会議で協議する予定。

##### －ISO 18651-1 内部振動機－第 1 部：用語及び仕様項目

DIS 投票（09/12/30 締切）が承認され、FDIS 投票を省略し 2011 年 3 月に IS が発行された。

##### －ISO/NP（中国提案）コンクリート配管の分類－形式・寸法、試験及び計算方法

ワルシャワ国際会議での決議に従い 2010 年 7 月に投票を行ったが賛成国不足で NWIP 不成立。

－ ISO/NP (米国提案) コンクリートフローティングマシン

2008年度の投票で、参加エキスパートが不足した為、2009年末に再投票を行ったが、やはりエキスパートが足りずNWIP不成立。米国がエキスパート参加国を募ることになっている。

－ ISO/NP (ポーランド提案) 内部振動機－コンパクションダイアメターの測定方法

2008年度の投票で、参加エキスパートが不足した為、2009年末に再投票を行ったが、やはりエキスパートが足りずNWIP不成立。ドイツ、米国及びオーストリアが反対。テクニカルレポートとしてポーランドが再々提案を固めることになっている。

② WG 1 分類 (コンビナー：ポーランド)

－ワルシャワ国際会議において、ポーランドが活動完了に伴いWG1の解散を宣言した。

③ WG 2 用語 (コンビナー：ポーランド)

－定期見直し

・ISO 11375 建設用機械及び装置－用語及び定義

2010年3月に投票を行ったがエキスパート不足でNWIP不成立となった後、2010年9月に再投票の結果、NWIP成立した。

④ WG 5 道路工専用機械 (コンビナー：ドイツ)

－定期見直し

・ISO /CD 15688 道路建設及び維持機械－ソイルスタビライザー－用語及び商業仕様

2010年6月にCD投票を行い9月締切、反対票はなし。

・ISO /NP 25800-1 スーパー第1部：用語及び商業仕様

2009年12月に投票を行ったNWIPが不成立だった。NWIP再投票予定(未実施)。

－NWIP CEN/TC 151/ WG 5 道路建設用機械－安全要求

・ワルシャワ国際会議での決議に従い、ウィーン協定に基づきEN 500 parts 1,2,3,4及び6をベースにしたISO規格を制定する。整合規格として受け入れられる事を目的とし、ISO/TC 195/WG 5及びWG 7のエキスパートが共同参加、CEN/TC 151/WG 5のエキスパートも活動に加わりプロジェクトを推進する為、ISO/TC 195の下に新たなワーキンググループ(WG 9)を設立する。

⑤ WG 6 手持ち式エンジンカッタ (コンビナー：ドイツ)

－ISO/DIS 19432 手持ち式エンジンカッタ

2010/9/17にドイツ・ハンブルグで国際会議が開

催された後、FDISが準備されている。

⑥ WG 7 手押し式締めめ機械 (コンビナー：米国)

－ISO/NP 打撃力測定方法

発行済のISO 19433 (vibratory plate) 及びISO 19452 (rammer) の2機械の打撃力の測定方法について、幹事国ポーランドがスウェーデンと協力し「振動ランマの衝撃エネルギー測定方法」規格化の妥当性を確認する為の評価試験を行っている。

⑦ WG 8 骨材処理用機械及び装置 (コンビナー：日本)

－ISO/WD 21873-3 自走式破碎機－第3部：性能試験方法

発行済のISO 21873-1, -2に続き、ワルシャワ国際会議でNWIP成立を確認、決議に従いWDを送付し各国に意見を求めた。性能試験(仕様確認)を行う項目及び方法に関する各国コメントを受け、国内委員会で協議し第2次WDを作成、(事務局ポーランドを通じ)再度各国へ意見照会を依頼した(～2月末)。その結果を踏まえ、2011年5月に開催される北京国際会議でCD投票を宣言する予定。

⑧その他

－次回TC 195国際会議(総会及びSC 1, WG 2, WG 5, WG 7, WG 8会議)は、2011年5月10～13日に中国・北京で開催される。

(3) ISO/TC 214 昇降式作業台委員会

①全般：TC 214は、「高所作業車」など「昇降式作業台」を検討する専門委員会で、他に「移動昇降式足場」などを対象とする。高所作業車には、米国のANSI・欧州のEN規格・国内の厚生労働省の構造規格があり、従来、製造業者は仕向け先により機械の設計・構造を変更しており、ISO化による基準統一が求められ、欧州勢が多数なので設計基準となるISO 16368がEN 280に基づいていったん成立も米国が改訂を求めるなど対立が続いていたが、米国もISOへの整合化を図る方向となり、ISO 16368改正発行され、日本としては、厚生労働省の通達「機械の包括的安全基準に関する指針」に対応するためISOに基づいてJIS化の方向である。他方「移動昇降式足場」に関しては、従来国内では例外的な機械として投票には棄権することが多かったが、昨年頃からマンション補修工事などでの使用が拡大しつつあることから対応要となっているが、協会会員には建設業、レンタル業など機械の使用者、供給側では商社が含まれているものの、技術的検討の中心となるこの種機械の製造者が不在のため、協会としてどのように対応すべきかとの問題があり、この種機械

の技術的検討を実施中の団体である(社)仮設工業会との連携含め検討要の状況である。

②平成 22 年度活動：委員会として以下の検討を行った。

- 1) ISO/FDIS 16653-3「高所作業車－特別仕様に関する設計、計算、安全要求事項及び試験方法－第 3 部：果樹園用高所作業車」：果樹園用機械に関する提案で、国内（履帯式主体）と海外（車輪式主体）での差異の問題などの点もあり、FDIS 投票には(社)日本農業機械工業会と連絡をとって対応も結局棄権、投票結果としては承認、発行された。
- 2) ISO/NP 18878「高所作業車－運転員の教育」改正新業務項目提案：既発行の ISO 18878 についての改正提案で、国内法令（高所作業車運転技能講習実施規程など）及び国内の実情などの点をチェック。法令との問題を生じないようコメントした。
- 3) ISO 16369「移動昇降式足場」定期的見直し：従来棄権しているが、最近国内での普及が進み始めたので、国内意見集約要も、会員メーカ企業不在の問題があり、仮設工業会とも連絡をとり、とりあえずいったん「確認」とした。
- 4) 以前投票承認された ISO/NP 11988「移動昇降式足場の設置、保守、全面的検証及び安全な使用に関する適正実施規準」及び「マスト昇降式運搬台」について、日本は棄権であったが、前述の事情から今後は対応要も、今のところ動きなし、5月の国際 WG 2 会合で検討開始と思われる。
- 5) 国際活動：現時点では特になし

③平成 23 年度計画：当面、各案件に対して、国内実情を反映すべく当面メール連絡などで対応、また、国際活動に関しては、国際 TC 214/WG 1（高所作業車）が 5 月 16 日～18 日にフランクフルトで開催予定、同 WG 2（移動昇降式足場）が 5 月 16 日～17 日にモンテリオールで開催予定も、同時期に 2 箇所で開催なので対応困難な状況である。

④その他：活線作業用高所作業車に関しては、IEC/TC 78（活線作業）が IEC 61057 担当であるが、国内実情と相違の問題があり、IEC の国内委員会と連携した対応が必要である。

2010 年～発行の建設機械関係 JIS（制定及び改正）

- ・ JIS A 8202-3 トンネル工事機械－安全－第 3 部：全断面トンネル掘進機(TBM)の要求事項
- ・ JIS A 8302 土工機械－運転員・整備員の乗降用、移動用設備
- ・ JIS A 8311 土工機械－運転員の視野－測定方法及び性能基準
- ・ JIS A 8315 土工機械－運転員の身体寸法及び運転員周囲の最小空間
- ・ JIS A 8316 土工機械－電磁両立性 (EMC)
- ・ JIS A 8317-1 土工機械－音響パワーレベルの決定－動的試験条件
- ・ JIS A 8317-2 土工機械－運転員位置における放射音圧レベルの決定－動的試験条件
- ・ JIS A 8325 土工機械－履帯式機械－制動装置の性能要求事項及び試験方法
- ・ JIS A 8340-7 土工機械－安全－第 7 部：グレーダの要求事項
- ・ JIS A 8403-5 土工機械－油圧ショベル－第 5 部：掘削力測定方法
- ・ JIS A 8422-1 土工機械－ダンパ（重ダンプロック及び不整地運搬車）－第 1 部：用語及び仕様項目
- ・ JIS A 8508-6 2 道路工事機械－安全－第 6 部：アスファルトフィニッシャの要求事項
- ・ JIS A 8508-7 道路工事機械－安全－第 7 部：アスファルトディストリビュータ及びアスファルトスプレーヤの要求事項
- ・ JIS A 8509-2 基礎工事機械－安全－第 2 部：掘削機の要求事項
- ・ JIS A 8510 路面清掃機械の安全要求事項
- ・ JIS A 8511 除雪機械の安全要求事項
- ・ JIS A 8603-1 コンクリートミキサ－第 1 部：用語及び仕様項目
- ・ JIS A 8603-2 コンクリートミキサ－第 2 部：練混ぜ性能試験方法
- ・ JIS A 8614 トラックミキサの安全要求事項
- ・ JIS A 8705 アスファルトプラント類の安全要求事項
- ・ JIS A 8706-1 履帯式建設リサイクル機械－安全－第 1 部：自走式クラッシャの要求事項
- ・ JIS D 0006-1 土工機械－機関－第 1 部：ネット出力試験方法

## 2010年発行のISO/TC 127規格（制定及び改正）

- ・ ISO 6405-1:2004/ Amd 1:2010 Additional symbols
- ・ ISO 9533:2010 Earth-moving machinery -- Machine-mounted audible travel alarms and forward horns -- Test methods and performance criteria
- ・ ISO 12117-2:2008/ Cor 1:2010
- ・ ISO 15143-1:2010 Earth-moving machinery and mobile road construction machinery -- Worksite data exchange -- Part 1: System architecture
- ・ ISO 15143-2:2010 Earth-moving machinery and mobile road construction machinery -- Worksite data exchange -- Part 2: Data dictionary
- ・ ISO 21507:2010 Earth-moving machinery -- Performance requirements for non-metallic fuel tanks
- ・ ISO 22448:2010 Earth-moving machinery -- Anti-theft systems -- Classification and performance

## 2010年～発行のISO/TC 195規格（制定及び改正）

- ・ ISO/TR 12603:2010 Building construction machinery and equipment -- Classification
- ・ ISO 18651-1:2011 Building construction machinery and equipment-Internal vibrators for concrete-Part 1: Terminology and commercial specifications

## 2010年発行のISO/TC 214規格

- ・ ISO 16368:2010, Mobile elevating work platforms -- Design, calculations, safety requirements and test methods（改正）
- ・ ISO 16653-3:2011, Mobile elevating work platforms -- Design, calculations, safety requirements and test methods relative to special features -- Part 3: MEWPs for orchard operations（新規）

JICMA

## 平成22年度版 建設機械等損料表 発売中

## ■内 容

- ・ 国土交通省制定「建設機械等損料算定表」に基づいて編集
- ・ 損料積算例や損料表の構成等をわかりやすく解説
- ・ 機械経費・機械損料に関係する通達類を掲載
- ・ 各機械の燃料（電力）消費量を掲載
- ・ 主な機械の概要と特徴を写真・図入りで解説
- ・ 主な機械には「日本建設機械要覧（当協会発行）」の関連ページを掲載

■ B5判 約720ページ

## ■一般価格

7,700円（本体7,334円）

## ■会員価格（官公庁・学校関係含）

6,600円（本体6,286円）

## ■送料（単価） 600円（但し沖縄県を除く日本国内）

注1) 複数冊発注の場合は送料単価を減額します。

注2) 沖縄県の方は社沖縄建設弘済会

（電話：098-879-2097）にお申し込み下さい。

## 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8（機械振興会館）

Tel. 03 (3433) 1501 Fax. 03 (3432) 0289 <http://www.jcmanet.or.jp>